

2006年6月号
No. 52
(合併第1号)

下大和田・小山町 谷津田だより

ちば環境情報センター・
谷津田プレーランドプロジェクト
TEL&FAX : 043-223-7807
E-mail:hello@ceic.info
http://www.ceic.info/

今月から下大和田と小山町の谷津田だよりが合併しました！

親子で共有できる谷津田での時間

江澤 芳恵 あすみが丘在住

あすみが丘に住むようになって11年。谷津田に通うようになって5年になります。我が家には1年生と5年生の子どもがいます。谷津田に通うようになったのは、子どもに自然と触れ合う体験をさせたいと思ったからです。「子どもに」というより、「子どもといっしょに」といった方が正しいかもしれません。私自身、子どもの頃に草花で遊んだり、虫を捕まえたりしたことがあまりなかったので、遅ればせながら、子どもといっしょに自然の中でいろいろな体験をしてみたいと思いました。

通い始めた下大和田の谷津田には、メダカやたくさんの植物、昆虫がいます。それらの生き物に詳しい方がいらして、わからないことがあれば、すぐに教えてください。また、そこに集まる人は心温かい人ばかりです。まだ、おむつのとれていない赤ちゃんから、私たちのような親子づれ、大学生やお孫さんのいるご年配の方まで、実にさまざまです。そんないろいろな年代の人と接することができるのもこの活動の魅力です。そんな居心地のよさにいつの間にか5年もたっていました。

この5年間、私も子どももどれだけたくさんのものを谷津田の活動から得たことでしょうか。最初の頃、裸足で田んぼにはいるのを嫌がっていた娘は、今では泥んこ大好き人間です。ザリガニやカマキリをつかむことを怖がっていた息子も、大きいお兄ちゃんからどんな風につかんだらさまれないかを教えてもらい、今ではいろいろな虫を捕まえては自慢げに見せてくれるようになりました。

生き物には命があり生き物の死に直面することも子どもにとっては「正しい大人」になるための大切な体験であること。子どもたちは虫を捕ったりするだけでなく工夫しているいろいろな遊びを考え出す力を持っていること。自然の中では「早く、早く」を言わないことなど、たくさんのことを学びました。

小山町の谷津田に初めて行ったのは去年の7月です。



今まで通った下大和田も車で15分程度と近いと思っていましたが、小山町の谷津田は歩いて15分程度。私たちの住んでいるあすみが丘から坂を下っただけで、『となりのトトロ』に出てくるような里山風景が広がっているのには本当にびっくりしました。この谷津田でも地元の方をはじめ、たくさんの素敵な人たちとの出会いがあり、ここで自然観察やピオトープづくりなどの活動をしていけることをとてもうれしく思います。

休耕地をお借りしてのピオトープ作りの作業は、田んぼにはびこったアシを刈り取り、根を掘り起こさねばならず大変な作業でしたが、土いじりは思いのほか楽しく、掘り起こした土の中からヤゴやオケラが出てきたりして、さまざまな発見もありました。

その間、子どもたちは何をしているかといえば・・・。お手伝いしてくれる子もいれば、耕した泥にまみれドロコ遊びをしたり、泥の中からカエルを捕まえる子、泥だんごをつくる子、そして、泥遊びにあきると、秘密基地を作り始めたり、高い所から広場にむかって飛び込みジャンプをしてみたりと、いろいろな遊びを考え出しては遊んでいます。

こんな素敵な時間を親子で共有できることが私たち親子の宝物となっています。これからも谷津田に通って、谷津田にいるたくさんの人や生き物といろいろな季節を楽しく過ごしたいと思います。



里山たんけんレポート

第 76 回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告 2006 年 5 月 8 日(月) くもり

どんよりとした今にも降りだしそうな寒い日でした。実施予定の 7 日は従来の倍もの田植えをすることになり、観察は一日ずらしスタッフひとりで記録しました。田んぼはシュレーゲルアオガエルの大合唱。ニホンアカガエルのオタマジャクシはみんな足が出ていて、早いものは手足が出て身体もカエルの形になり尾をつけているのもいました。天候のせい生き物はほとんど姿を見せませんでした。

開花植物：ハルジオン、ハハコグサ、ウラジロチチコグサ、セイヨウタンポポ、オオジシバリ、オニタブラコ、ノゲシ、オニノゲシ、ヤエムグラ、オオバコ、トキワハゼ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、カキドオシ、トウバナ、キランソウ、キュウリグサ、オヤブジラミ、コマツヨイグサ、ツボスミレ、タチツボスミレ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、カスマグサ、カラスノエンドウ、カタバミ、ヘビイチゴ、キジムシロ、スカシタゴボウ、イヌガラシ、ナズナ、オランダガラシ、タネツケバナ、クサノオウ、ナガミヒナゲシ、ムラサキケマン、ケキツネノボタン、タガラシ、ミミナグサ、オランダミミナグサ、ミドリハコベ、コハコベ、ノミノフスマ、ウシハコベ、スイバ、ホウチャクソウ、ウラシマソウ、マムシグサ、キンラン、ササバギラン、ショウブ、ゴウソ、カサスゲ、イヌムギ、スズメノカタビラ、ヒエガエリ、スズメノテッポウ、チガヤ、アズマネザサ、ハナイカダ、サワフタギ、ノダフジ、クサイチゴ、サンショウ

野鳥：カルガモ、ウグイス、メジロ、セグロセキレイ、シジュウカラ、ヤマガラ、ハシブトガラス

昆虫：ナナホシテントウ、ジョウカイボン、ジョウカイボンの仲間の一種、ヒメクロオトシブミ、マルカメムシ、ハナアブ、ハエ sp、セイヨウミツバチ、タケカレハ幼虫

その他：ニホンアカガエルのオタマジャクシ、シュレーゲルアオガエルと卵塊。メダカ、マルタニシ、オオタニシ、カワニナ、ヒメモノアラガイ、ミスジマイマイ

*なお、連休中田起こしの際、同所で記録したものをこの時季に発生しているものとして付記します。

昆虫：モンシロチョウ、モンキチョウ、スジグロシロチョウ、キアゲハ、キタテハ、コジャノメ、ホソミオツネントンボ、シオヤトンボ、シオカラトンボ、オオカワトンボ(従来ヒガシカワトンボとしていたもの)、ヤマトシリアゲ、クビキリギス、ヒシバツタ、トゲヒシバツタ、ケラ、イチモンジカメノコハムシ、ヨコズナサシガメ

その他：ネコハエトリ、デーニツツハエトリ、イオウイロハシリグモ、コモリグモ sp、ドジョウ、ザリガニ

参加者：大人 1 人(報告：網代春男)

第 60 回 下大和田谷津田プレーランド・プロジェクト(YPP)「みんなでわいわい！ 田植え」

2006 年 5 月 7 日(日) くもり時々雨

予報は日中ずっと傘マーク。今回ばかりはダメかな...と思いきや、さすが天気運の良い YPP。時折、小雨が降ったものの、作業には支障がない程度でした。しかし、この天気で参加をあきらめた人が多く、田起こしに続いて、田植えとしてはこれまでで一番参加者が少なく、地元の方に育てていただいたいつもの倍の 20 枚の苗を前に、最初は不安でいっぱいでした。

まずはコシヒカリ田んぼからスタート。植え付け目安のロープを縦横に張ったお陰で、作業が効率よく進みます。今年で 6 年目とあって、常連の皆さんの手つきは慣れたもの。これまでで最速でコシヒカリ田んぼを仕上げると、カヤネズミ田んぼに移り、何と午前中だけで 2 枚の田んぼを植えてしまいました。雨なのでこの 2 枚を植えるのがせいぜいかな?とっていたので、すごいパワーです!

途中から並行して古代米の苗代も作りました。My 田んぼの一番西側の区画に作った苗代に、緑、黒、赤の 3 色をまきました。去年はカルガモに種籾を食われてしまったので、防鳥ネットでしっかり覆って苗代のできあがりです。同じ区画に農政センターからいただいた昔のうるち米「農林 1 号」も植えました。篤農家の方が種籾から苗にして下さったもので、数が少なく貴重な稲なので、念入りに草を取り、起こし、均し、クロ付けをした立派な田んぼにしました。しかも、1 本植え。どのような稲になるのか楽しみです。

林の中でゆっくりお昼を食べてから、午後は今年から引き受けた大塚さんの田んぼの田植えをしました。まだ半分の苗が残っているので、できるところまでと思っていたのですが、田植えが進む、進む!すごい速さです。さすがに最後の方は腰も痛くなり、音を上げたくりましたが、見事全部の苗を植え終えました。みなさん、本当にお疲れさまでした。この日だけでなく、連休中ずっと作業をして下さった方々もいっしょり、みんなの力を合わせることに素晴らしさを改めて実感しました。更に大変な稲刈りのことは取りあえず考えたくないのですが、こうして田植えさえ済ませれば、田んぼはしっかり守られます。6 月は古代米の田植えになりますが、またよろしく願います。

参加者：大人 18 人、小学生 4 人(報告：高山邦明)

下大和田 季節のたより

- 5月1日(月) 冬の間、枯れ枝色だったホソミオツネトンボが綺麗に色付いて田んぼに戻ってきた。おだ掛けの竹を仕舞ってあるところにネコハエトリ(クモ)のオスがたくさんいて歩き回っていた。林ではハナイカダが花を咲かせ、切った杉丸太にたくさんのヒメスギカミキリの姿(網代)。
- 5月5日(金) 斜面林にフジが咲き、シオヤトンボに続いてシオカラトンボが飛び始める。田起こしの終わった田んぼには例のセグロセキレイが餌をとっては巣へ運んでいた(網代)。
- 5月14日(日) 林のフデリンドウに果実が付いていた(田中)。
- 5月20日(土) 畦で小さなアカガエルが元気にはね回る。ドクダミが咲き始め、田んぼの上空をヤマサナエが舞う(高山)

第10回 小山町自然観察会とコシヒカリの田植え 2006年5月21日(日) 快晴

田植えということもあり、たくさん子ども連れの参加となった観察会でした。晴れていたこともあり、さまざまなチョウやトンボが飛んでおり、田んぼの中の生き物の様子もよく観察できました。1時間ほどで観察会をきりあげ、子どもたちを中心に田植えをしてもらいました。はじめのうちは、慣れない手つきで苗を植えていたため、苗が水面に浮たり、横に倒れていましたが、終わる頃には、しっかりと植えられた苗が風になびいていました。

野鳥：サシバ、ハクセキレイ、ヒバリ、ウグイス、ヒヨドリ、ハシブトカラス、キジバト

開花結実していた植物：チガヤ、アカモジクサ、アズマザサ、マムシグサ、カラスビシャク、スズメノヤリ、イヌスギナ、クリ、スイバ、ツメクサ、ハコベ、クロモジ、キツネノボタン、ドクダミ、イヌガラシ、ウツギ、ヘビイチゴ、シロツメクサ、カラスノエンドウ、カタバミ、コクサギ、ヒメハギ、ツリバナ、ヤブジラミ、ヤマツツジ、コナスビ、サワフタギ、コケリンドウ、ホトケノザ、トウバナ、カキオドシ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、オオバコ、ウグイスノカズラ、ニワトコ、ノアザミ、ハルジオン、ハハコグサ、オオジシバリ、ニガナ、ヤブタバコ、コウゾリナ、ノゲシ、セイヨウタンポポ、オニタビラコ、ナルコユリ、カエデドコロ、キショウブ、ニワゼキショウ、コウゾ

両生・爬虫類：シュレーゲルアオガエルと卵塊とオタマジャクシ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエルとオタマジャクシ、アズマヒキガエルのオタマジャクシ、ニホントカゲ

昆虫ほか：シオカラトンボ、ギギシムシ、アオシヤガハ、カワトンボ、キチョウ、タイコウチ、アメンボ、アワフキムシ、オニヤンマヤゴ、オケラ

その他：マルタニシ、サワガニ、アメリカザリガニ、ドジョウ

参加者：大人24人、小学生18人、幼児2人
(報告：松下恵美子 記録：細川隆・齊藤薫)



小山町 季節のたより

- 5月6日(土) 早朝、フクロウの鳴き声。シュレーゲルアオガエルの鳴き声がにぎやかな田んぼでシオヤトンボが産卵。林ではマムシグサが咲き始める。(高山)
- 5月12日(金) アゲハチョウやカラスアゲハが乱舞。田起こしをした土の中にシュレーゲルアオガエルの卵がいくつもうまっていた。あざみ谷からサシバが鳴きながら飛び去る。(金谷)
- 5月14日(日) 上陸間際のヒキガエルのオタマジャクシが畦近くに集結。田んぼにサシバがおりていた。(高山)
- 5月21日(日) 観察会終了後、ノウサギを発見。(齊藤洋)
- 5月25日(金) 田起こしを終えた田んぼの中にたくさんのシュレーゲルアオガエルのオタマジャクシやゲンゴロウの姿。田起こしただけで生き物ががえってくることにビックリ。(今井)
- 5月26・27日 早朝、あすみが丘でホトトギスの鳴き声が聞こえる。例年より、少し遅い(高山)
- その他、地元の方がキンラン、ギンランの開花を確認。

* 田んぼや畑は地元の方の大切な私有地です。観察会以外にむやみに立ち入らないようにお願いします。また、貴重な動植物の捕獲、採取は控えてくださいますよう、ご協力をお願いします。動植物の移入も厳禁です。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPの活動は大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意:
- ・車で来られる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などに置かないで下さい。
 - ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
 - ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加下さい。

第12回 小山町自然観察会と古代米の田植え

田起こしした田んぼには、たくさんの生き物が集まり、前回、植えたコシヒカリの成長を見守ってくれています。そんな生き物たちを観察したあと、今回は赤米、緑米、黒米などの古代米の田植えをします。特に秋にまっかになる赤米の稲穂はとともきれいです。ぜひ、ご参加ください。

日時: 2006年6月18日(日) 10:00~12:30 *小雨決行
場所: 千葉市緑区小山町 ビオトープ予定地(当日、集会所前に案内を出します)
持ち物: 長靴、着替え、ゴム手袋、軍手、スコップ、くわなどの農具(もしあれば)
参加費: 100円(保険・資料代など)

第61回 下大和田 YPP 谷津田プレーランドプロジェクト「古代米の田植えと田の草取り」

梅雨を迎えた谷津田ではたくさんのトンボが生まれ、今年生まれのアカガエルのおチビちゃんがピョンピョンはね回っています。林ではクワガタムシたちが姿を現す頃。今回は5月のコシヒカリに続いて古代米の田植えをします。年末の緑米のもちつきを思い描きながらわいわいにぎやかに植えましょう。田んぼの草取りもしますので、よろしくをお願いします。

日時: 2006年6月25日(日) 10:00~14:00 *小雨決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)
集合: 中野操車場バス停に 10:00 (JR 千葉駅 10 番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで 45 分<千葉駅発 8:53、9:08、9:23 など> 料金は 520 円)
持ち物: 弁当、飲み物、敷物、長靴(泥が深いので長めのもの)、軍手、お椀、はしなど
参加費: 300円(保険・資料代など)
主催: ちば環境情報センター(ホームページ <http://www.ceic.info/>)
共催: ちば・谷津田フォーラム(ホームページ <http://yatsuda.2.pro.tok2.com/>)

第78回 下大和田7月の谷津田観察会とごみ拾い 「梅雨の谷津田」

野の花はちょっと一服、田んぼのいきもの、樹液に集まる虫などを観察しながら谷津を散策しましょう。

日時: 2006年7月2日(日) 10:00~14:00 *小雨決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)
集合: 中野操車場バス停に 10:00(同上)
持ち物: 筆記用具、弁当、水筒、長靴、帽子、敷物、軍手、ゴミ袋など
参加費: 300円(保険・資料代など)
主催: ちば・谷津田フォーラム
共催: ちば環境情報センター



編集後記: ・今月から下大和田と小山町の谷津田だよりを合併しました。谷津田の生きものや人の暮らしなどを紹介する記事も掲載していきたいと思います。皆さんからの投稿を歓迎します。(高山)
・小山町の地元の方をはじめ、たくさんの方のおかげで、アシ原が田んぼに生まれ変わりました。ありがとうございました。下大和田のようにたくさんの方や生き物が集える谷津田になってほしいと願うばかりです。(松下)